

2023年度 TMSナビ ストレスチェックの結果に関する調査②

TMSナビ導入団体及び企業全体の 総合リスクは93 全国平均（厚労省基準）の100よりも良好

(対象者239,138人中、有効回答214,374人)

1.導入企業全体および性別の健康リスク

- 男女差は職場の支援リスクにみられ、女性の方が良好

集団名	対象者数 (人)	有効回答数 (人)	量・コントロール リスク	職場の 支援リスク	総合リスク
全体	239,138	214,374	99	94	93
男性	181,783	161,674	98	93	91
女性	57,355	52,700	99	89	88

2.年代別健康リスク

- 20代以下は職場の支援リスク、60歳以上は量・コントロールリスクが良好

年代	対象者数 (人)	有効回答数 (人)	量・コントロール リスク	職場の 支援リスク	総合リスク
20歳未満	2,364	2,014	95	76	72
20代	45,234	40,514	98	83	81
30代	49,247	44,240	102	94	95
40代	60,258	54,364	101	97	97
50代	60,630	54,522	97	99	96
60歳以上	21,405	18,720	84	99	83

3.残業時間別健康リスク

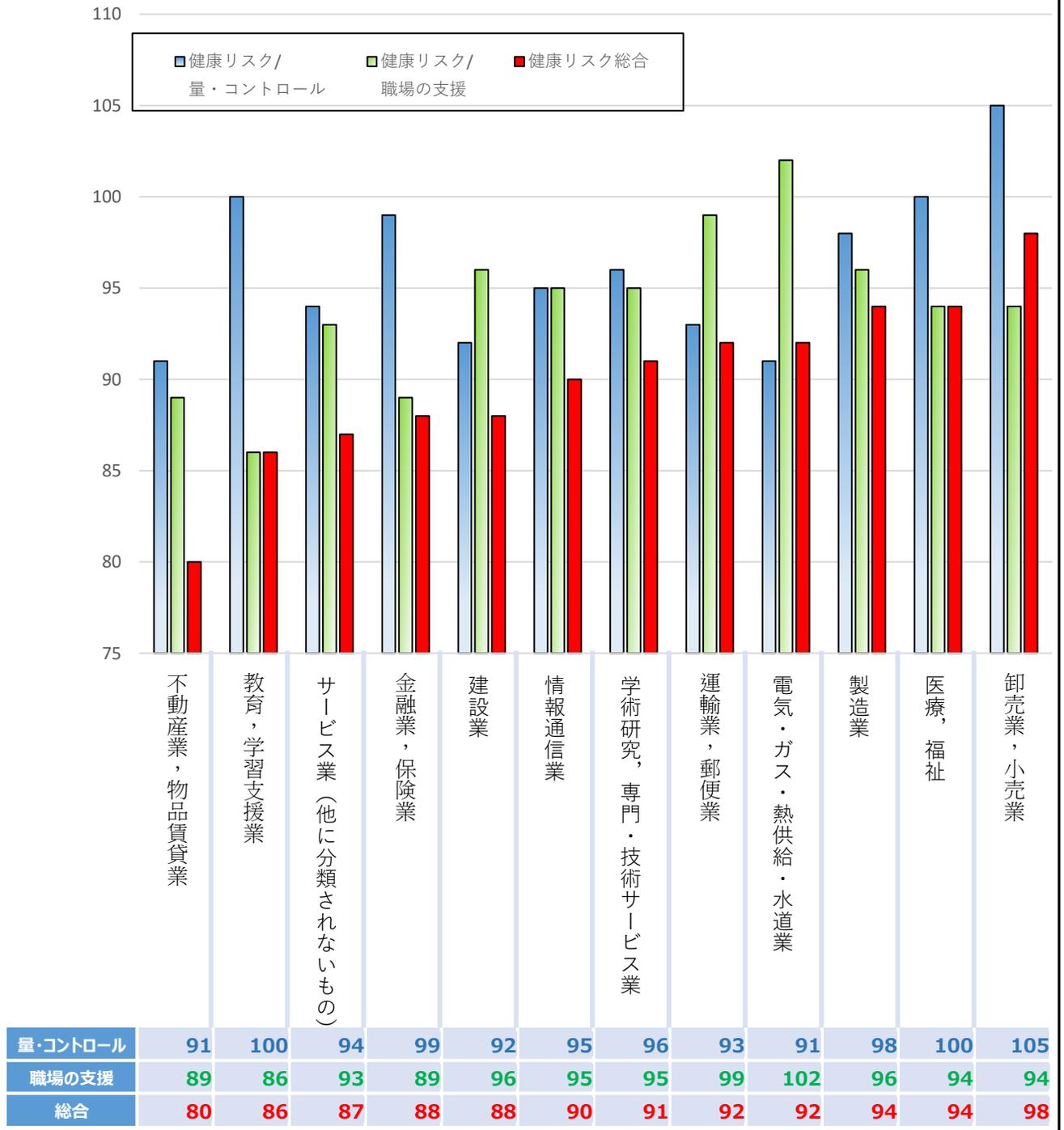
- 残業時間が増加しても、職場の支援リスクは比較的良好

月平均残業時間	有効回答数 (人)	量・コントロール リスク	職場の 支援リスク	総合リスク
0～10時間	59,292	88	96	84
11～20時間	32,529	98	93	91
21～30時間	30,561	104	93	96
31～40時間	23,585	107	93	99
41～45時間	11,948	108	94	101
46～50時間	6,115	106	95	100
51時間以上	12,541	105	97	101
管理職・裁量労働制	6,273	103	90	92

4.業種別健康リスク

※業種分類は日本標準産業分類を使用

- 総合リスクは今回取り上げた全業種において全国平均（100）を下回り、特に「不動産業・物品賃貸業」「教育・学習支援業」など5業種で「良好」な結果であった。
- 量・コントロールリスクが100を上回った業種は「卸売業・小売業」であり（105）、総合リスク（98）も最も高い業種となった。
- 職場の支援リスクが100を上回った業種は、「電気・ガス・熱供給・水道業」（102）のみであった。



(注)本調査はデータ利用の許可を頂いた団体及び企業のデータのみ分析対象としています